

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2017.5.25 No.271

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

日本共産党「講演と音楽の夕べ」が盛況!

5.22演説会 杉並公会堂に800人

改憲止め逆立ち都政ただす 都議選必勝に向けて全力

5月22日(月)、杉並公会堂大ホールにおいて、都議選勝利・躍進をめざす日本共産党演説会「講演と音楽の夕べ」が開かれました。会場には、800名を超える参加者が集い、講演と音楽に聴き入りました。

第一部では、元日本フィルハーモニー交響楽団チェロ奏者の奈切敏郎さんをはじめとする3名の奏者によるピアノトリオによる素敵な演奏に会場中が酔いしれました。



原田あきら勝手連作成の「あきら」「頑張れ」プラスターを掲げ、演説会参加者と記念撮影。

第二部では、おさない史子衆議院東京八区予定候補が、青年の置かれる深刻な実態を告発。国政の転換に向けた決意を語りました。吉田信夫都議会議員は、逆立ち都政をただし、都民生活の守り手として奮闘してきた党都議団の役割を紹介。原田さんを都政に押し上げてほしいと訴えました。



ピアノトリオによる演奏。

田村智子参議院議員・日本共産党副委員長は安倍首相の異常な改憲の狙いや国民の内心を処罰する「共謀罪」法案の強行など、政権の深刻な暴走の実態を告発。自公政権と正面から対決する日本共産党の取り組みを紹介し、都議選で安倍政権に退場の審判を下すことを訴えました。

原田あきら都議予定候補 都政転換へ気迫の訴え

原田あきら都議予定候補は、4期14年の区議会議員活動で培った経験を活かし都政転換に取り組むことを力強く決意表明。何としても都政に送り出してほしいと訴えました。



原田都議予定候補の訴えを受け、演説会参加者は大きな拍手と歓声で応えました。

日本共産党演説会へのご参加
ありがとうございました!

2017年度第1回臨時会が開会

2017年度 杉並区議会の体制が決まる

日本共産党杉並区議団の体制

常任委員会

- ◆総務財政委員会：富田たく
- ◆区民生活委員会：くすやま美紀（副委員長）
- ◆保健福祉委員会：山田耕平
- ◆都市環境委員会：金子けんたろう
- ◆文教委員会：上保まさたけ

会派内人事

- 団長：くすやま美紀
- 幹事長：山田耕平
- 副幹事長：金子けんたろう
- 経理責任者：上保まさたけ

特別委員会

- ◆災害対策特別委員会：富田たく（委員長） 金子けんたろう
- ◆道路交通対策特別委員会：山田耕平
- ◆文化芸術・スポーツに関する特別委員会：くすやま美紀
- ◆議会改革特別委員会：上保まさたけ

◇議会運営委員会：山田耕平 ◇議会運営委員会理事：山田耕平

臨時会で各委員会の配置等を決定

5月17日・18日、杉並区議会第1回臨時会が行なわれました。新年度初回の臨時会では、議案の審査・議決の他、新年度の議会体制を決定します。各会派の協議により特別委員会の位置付け・配置等を検討し、各委員会の委員を選任します。

日本共産党杉並区議団の新年度体制は左表の通り決定しました。

議長・副議長の辞任に伴う選挙も

臨時会では、議長と副議長が一人上の都合による辞職を願ったため、直ちに議長・副議長の選挙が行なわれました。本来、地方自治法では、議長及び副議長は任期は議員の任期による（4年）としていますが、慣例により、議長・副議長が一年で交代しています。区民からは「議長・副議長ポストの「たらい回し」ではないのか？」等の疑問の声も出されています。議長・副議長任期の在り方についても区民目線の改革が求められています。

育メン日誌

綱渡り生活終了（泣）

妻の悪阻がやっと落ち着きました。この間、一番大変なのは妻だったと思いますが、私も本当に大変でした（泣）。

日常の議員活動にプラスして幹事長としての各会派間交渉（かなりストレスがたまりまます）、消防団の操法大会に向けた訓練（ストレス発散になります但し体力を消耗します）、育児に家事等々…。日々、目の回るような忙しさでしたが、何とかなるものです。

料理のレパートリーがもの凄く増えた日々でもありました（90種類程度）。朝ご飯も夕ご飯も私が作るようになり、子どものお弁当も作れます。

綱渡りのような生活を「気合い」と「ド根性」と『クックパッド』で乗り切りました。今後も、精進します！



我が家でダントツの人気レシピは、旨うま♡コンソメポテト★ウインナー炒め★

すぎなみ保育緊急事態宣言解除

“子どもから公園を奪う”事態を発生させ待機児童ゼロも実現出来ず…

すぎなみ保育緊急事態宣言が解除されました。

この間、緊急事態宣言に基づく待機児童解消緊急対策では、下井草地域・久我山地域の公園を乱暴に転用する保育所整備を強行し、マスコミにも大きく取り上げられる問題となりました。緊急対策では、“29年4月に『待機児童ゼロ』を達成します”とし、子どもたちの利用頻度が高い公園などを問答無用で奪い取り、保育所を整備しましたが、結局は、保育所整備の地域的な偏在などを発生させ、待機児童ゼロも実現していません（待機児童数29名）。“公園の代替用地を確保する、との住民との約束も守られておらず、区の間当たりの対応は許されません。

区の取り組み

- ・ ニーズの高い認可保育所を中心に、これまでにない規模で保育所の整備を進めます
- ・ 限られた期間で確実に整備を行うために、区立施設・用地の転用を図ります29年4月に『待機児童ゼロ』を達成します

29年4月に『待機児童ゼロ』を達成します

未だに、杉並区ホームページに「待機児童ゼロ」を明言している…。